

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webリテラシー I		（ NGM10C ）
講義名（コード）	Webリテラシー I		（ NGM10CX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉澤隆一	時間数	30
成績評価教員	吉澤隆一	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム 所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	これからのWeb活用に必要な基礎知識を習得する 一般的なWebアプリの操作、利用ができる
全体の内容と概要	Webサイトのサービスが動く仕組みや基礎、 制作側や制作発注側が知るべき標準知識を学ぶ
授業時間外の学修	自由選択課題
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Webの仕組みを理解する	Webの仕組み、その活用
2	メールが使える	Webサービスの利用 google gmail
3	表計算ソフトが使える	Webサービスの利用 google spreadsheet
4	ドローソフトが使える	Webサービスの利用 google draw
5	スライドが使える	Webサービスの利用 google slide
6	オンライン会議ができる	Webサービスの利用 オンライン会議
7	Web上のコミュニティに参加できる	Webサービスの利用 コミュニティ参加
8	Webで調べることができる	調査、探索
9	英語の情報を利用できる	英語と仲良くなる
10	リアルタイムでシンプルな情報発信ができる	インプット、アウトプット フロー情報 シンプル
11	リアルタイムで複雑な情報発信ができる	インプット、アウトプット フロー情報 コンプレクス
12	短時間のプレゼンができる	プレゼンテーション ショート
13	まとまった時間でプレゼンができる	プレゼンテーション ロング
14	プログラムに慣れる	プログラミング javascript基本
15	プログラム活用方法を理解する	プログラミング javascript活用

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	担当教員はWeb業界での実務経験を活かし、Web知識基礎からプログラミング知識基礎までを体系的に指導する